

#### 4-19 伊豆半島におけるラドン観測 (X I)

##### Radon Observation in the Izu Peninsula (XI)

東京大学理学部

Faculty of Science, The University of Tokyo

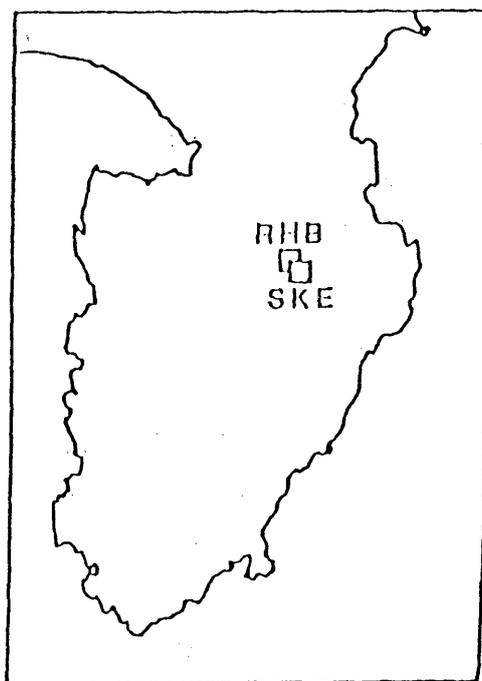
前報<sup>1)</sup>にひきつづき、伊豆半島における地下水中のラドン濃度の連続観測結果(1992年11月～1993年11月)を報告する。

観測点は、第1図に示す中伊豆第1(SKE)、中伊豆第2(RHB)の2地点である。第2図は各観測点における、1時間毎のラドン濃度(積算値)の24点移動平均の変動で、縦軸はこの期間の平均値に対する相対値である。

SKEのラドン濃度は極めて一定で、異常な変化はみられない。RHBでは、例年夏期に比べて冬期のラドン濃度は低く、変動も大きい。

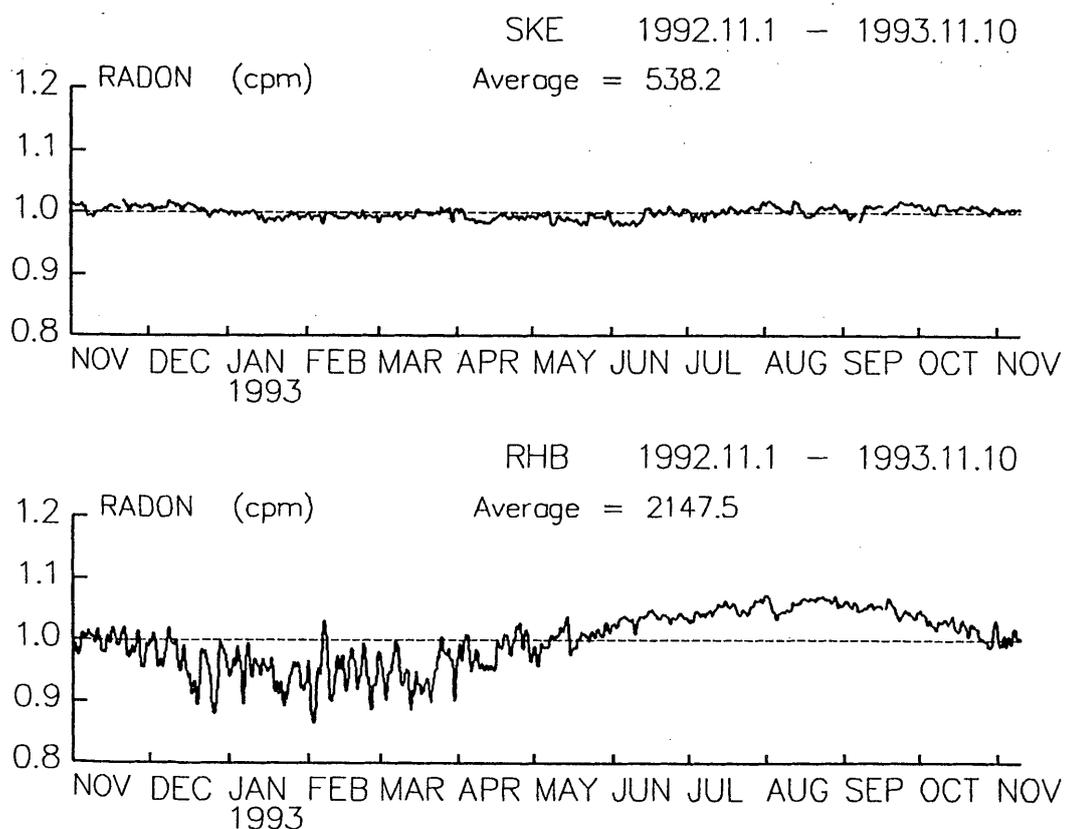
#### 参 考 文 献

- 1) 東京大学理学部：伊豆半島におけるラドン観測(X)，連絡会報，49(1992)，302-303.



第1図 伊豆半島の地球化学観測点の位置

Fig.1 Locations of geochemical observation sites in the Izu Peninsula.



第2図 SKE (中伊豆第1), RHB (中伊豆第2) における地下水中のラドン濃度の変化 (1992年11月~1993年11月)

Fig.2 Temporal variations in the radon concentration in groundwater at SKE (Nakaizu-1) and RHB (Nakaizu-2). (November 1992–November 1993).